

NOTE BOOK

USED EXTRAFINE FOOLSCAP
SPECIALLY MANUFACTURED IN TOKYO

57

敬学会賞
第十回入選作品

まくら研究

山一小

六年五組

猿谷 伸子

敬光A30

目次

1. 動機
2. まくらの種類
3. まくらの使い方
4. まくらを生かす物
5. そのまくらに合う ← しきぶとん
かけぶとん
6. 昔のまくら 近代のまくら
7. 協力してくれた人
8. 私がいろいろなまくらを
使ったの感想
9. まとめ
10. 研究をやったの反省

人

動機

はじめは「役に立つ物の研究」をやっていたが、
母に「あまりはんいが大きすぎるから大へん
だよ。」と言われた。
それから何をしたら良いか、わからなかったの
で、母に相談した。そしたら母は、ふいとん
をしきながら「まぐらの研究などは、どう
ね。」と言われた。それでまぐらの研究をする
ことにした。

2.

まくらの種類

「はんいをせまくして 私の家に」
「ある まくら だけを上げた」

まくらの中に入っている物の種類

- ① そばからの入っているまくら
- ② むみから 〃
- ③ スポンジ 〃
- ④ 水た 〃
- ⑤ 空気 〃
- ⑥ かわっているまくら (木のまくら)

(1) そばからのはいっているまくら

そばからの入っているまくらは
私の家で ふつうに使っている

作り方

このそばからを布の中に入れ とじる
それから別の布にふくろまま入れ ぬう

そばをむいた皮

↑

そばから

(5) 空気 まくら

空気まくらは 店でかう
ビニールのふくろに空気を入れたり
出したりする所が ついていて
出し入れする。

⑥ かわっているまくら
(木のまくら)

私の家にかわっている
まくらがある。木のまくらです。

① 木のまくら — くみたてまくら。
昔使っていたまくらだそうです。
ふつうの木をいさいよくして
くみ立てるまくら。

② 木のまくら — 箱まくら。
これも おばあさんが昔使っていた
まくらです。
ふつうの木を箱の形にして、中は
木でないのたそうです。

③ 木とわたのまくら — 高まくら。
今、おばあさんが使っているまくら
もおもしろい。スポンジのまくらは
ねずらいと言って、こんなまくらを
使っている。

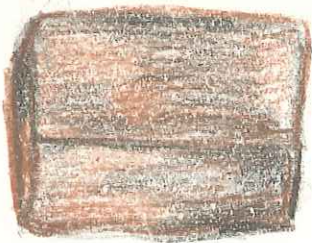
使っている

①-図



①-図

②-図



③-図



③-図

3

まくらの使い方

まくらの置位

まくらは 頭の下におくものだ
頭と体が同じ高さだと はずらい。
やっぱりまくらがあつた方がよい。

実験
と
み
て

だが 頭でなく 足や腹 などにまくら
したら はずらい。



○ 良い ○

× 悪い ×

どんな時どんなまくらを使うか。

- ・もみ・そばからのまくら
- ・スポンジまくら
い、つう私が使っているまくら。
- ・わたまくら
時々使うまくら。
- ・赤ちゃんの時のまくら
- ・空気まくら
旅行用に使う。
- ・木のまくら
祖母が昼寝の時 時々使う。

4

まくらを生かす物

まくらカバー

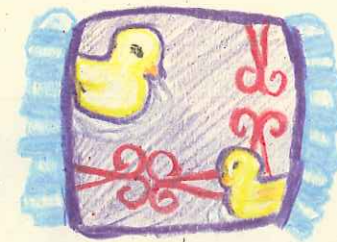
まくらには カバーがついている。
しゅうしたり、アップリケなどをいけたりして、
カバーをする。

もしまくらがきたなくなったら カバー
だけを洗つようにする。

- ・カバーのくふう
赤ちゃんのまくらカバー
赤ちゃんがはむる時 カバーに 動物や人形の
アップリケ、あるいは、しゅうなどをすると、赤ちゃんも
動物や人形といっしょに ねているようで、 しやすい
と思う。



カバー
(しゅうなどを
する)



カバー
(アップリケなどを
する)

- ・うらは スナッフ
ボタンなどで
とめてもよい。
あるいは、なにもな
いわけのようにな
っているのもよいと
思う。

- ・けいれいあまり おおげさすぎたりすると 少しは
あんみん、ぼうがいになる時がある。

5.

そのまくらに合う しきぶとん
かけぶとん

- そばから
 - もみから
 - わた
- のまくらには わたのしきぶとん
かけぶとんが
いいと思う。



- スポンジのまくらには スポンジのしきぶとん
かけぶとんが
いいと思う。



- 空気まくらは 家ではつかわず だいたい
は 旅行の時につかう。

- 木のまくらは わたのしきぶとん かけぶとんだと
思う。

6.

昔のまくら 近代のまくら

。昔のまくら

やっぱり 昔のまくらは 木のまくらだと思う。



。前からあって 今もあるまくら

もみ・そばから・わたのまくら。



。近代のまくら

スポンジのまくら



7.

協力してくれた人

。母

。祖母

。やおやさん

(もみからがなかったのでもみからが入っている箱によくもみからが入っていることを思い出してもらった。)

8

私の感想

私がいろいろなまくらを作ったの
感想

- ・もみからのまくら
もみからのまくらは、いちばんよかった。
- ・そばからのまくら
そばからのまくらも もみからとねごころは、
同じだった。
- ・スポンジのまくら
スポンジのまくらは 少し大きいのでねずら
かった。はている時、はじのオにたまがいくと、
はねかえるので、ねずらい。
- ・わたのまくら
わたのまくらは、ふらふらだったのでまくら
を作っている気がしなかった。
- ・空気まくら
空気まくらは 旅行の時につかうから
ふとんの上において、ねるのは、なんだか
へんな気がした。
- ・木のまくら
木のまくらは 角がはっているので、たいへん
ねずらかった。昔の人はよく、こんな
まくらを作ったものだとかきれてしまった。

9

まとめ

この研究をしてのまとめ

- ・まくらの種類は、あんがいたくさんある。
- ・まくらは、いつ、どこで、だれが、と分かれて
いるみたいだ。
- ・私が研究したまくらの中では、木のまくらが、
おもしろく、めずらしいと思った。
- ・まくらには、旅行につかう、空気まくらをぬか
して、みると、全部、しきふとん、かけふとん
が、つき物だ。
- ・まくらには、くふうとして、まくらカバーをする
と、ねごころ、見た目、が、とてもよい。
- ・ふっうのまくらは、頭にすく物だ。

- この研究をやってみて、とてもやくに立った。
- 始めは、佐藤賞をめざして、やっていたが、出してみると、なかなか、入ったと思った。
- 文字が、ていねいになったり、そそうになったりした。
- 図は、色えんぴつで書いたが、新聞についてきたりする、うごくから、切りとって、よく出きたと思う。